ザ・２０２０ビジョン

追加型投信 / 国内 / 株式

運用責任者メッセージ

10月の内外株式市場は、月初にAI関連株への成長期待を背景に上昇したものの、月後半にはAI関連投資の過熱感や収益性に対する懸念が強まり、半導体・ハイテク株を中心に急落するなど、荒い値動きとなりました。米国市場では、月初にNASDAQやS&P500が史上最高値を更新した一方、AI関連企業の大規模な設備投資に対する警戒感から、半導体や大型テクノロジー株に売りが広がりました。国内市場でも、月初には日経平均株価が7万円を超える場面があったものの、月後半には米国発のAI・半導体株安が波及し、日経平均株価、TOPIXともに下落しました。また、韓国の株式指数も月間で約16.7％下落するなど、半導体関連株の比重が高いアジア市場への影響も大きくなりました。さらに、米国の景気・インフレ関連指標の強さや原油価格の上昇も市場の警戒感を高めました。

業種別では、東証33業種のうち、サービス業、鉱業、医薬品が騰落率上位となる一方、非鉄金属、機械、銀行業が下位となりました。

AI革命がもたらす産業構造や社会の変化を捉える当ファンドでは、AI・半導体関連銘柄を一定程度組み入れています。当ファンドは、関連銘柄が大きく調整することを想定して、ダイナミックに現金比率を引き上げる対応を行いました。一時的に現金比率を10％強まで高めた結果、市場全体の下落率よりも小幅の下落に留めることが出来ました。11月以降は、買い場を丁寧に探してまいります。引き続き、ご期待ください。

◆2026年10月運用報告動画もぜひご覧ください

https://youtu.be/YLbu8tQJ4gM



代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

基準価額の推移
2013年12月27日 ～ 2026年10月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。

運用実績
2013年12月27日 ～ 2026年10月30日

基準価額
40,411 円
（前月末比）
△990 円（△2.39%）

純資産総額
125.4億円
（前月末比）
△2.9億円（△2.24%）

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△2.39%
3ヵ月	0.61%
6ヵ月	5.11%
1年	19.21%
3年	80.98%
5年	51.01%
10年	233.40%
設定来	309.38%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
2024年12月	0円
2025年12月	0円
設定来合計	270円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。
※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率	
株式	90.0%
その他	10.0%

市場別比率	
東プライム	78.3%
東グロース	6.5%
東スタンダード	5.1%
その他	10.0%

業種別比率	
電気機器	20.6%
情報・通信業	16.2%
サービス業	7.1%
化学	7.0%
その他製品	6.9%
小売業	6.4%
卸売業	5.3%
輸送用機器	3.9%
機械	3.6%
保険業	1.9%
繊維製品	1.8%
その他金融業	1.7%
鉱業	1.5%
非鉄金属	1.5%
海運業	1.4%
建設業	1.2%
不動産業	1.0%
食料品	1.0%
その他	10.0%

組入上位10銘柄

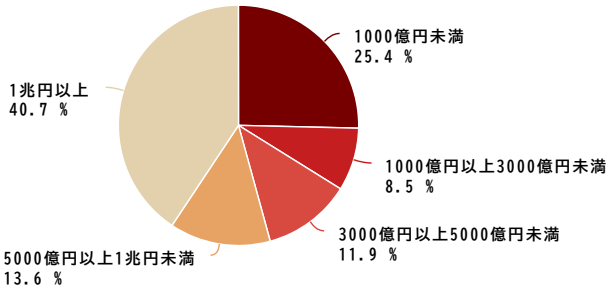
	銘柄	業種	銘柄概要	組入比率
1	サンリオ	卸売業	1960年の創業以来の理念は「みんななかよく」。ハローキティ、シナモロール、クロミ、ポムポムプリンなど、世界中で愛されるIP（キャラクターなどの知的財産）を豊富に保有し、物販事業、ライセンス事業、テーマパーク事業などを手がける。組織風土改革および構造改革、成長に向けた種まきで、未来への創造と挑戦を続ける。	4.0%
2	コナミグループ	情報・通信業	1970年代初期のアミューズメント機器（アーケードゲーム）の製造販売から始まり、家庭用ゲーム機向けコンテンツの制作、モバイル端末向けモバイルゲームの制作・配信を開始。ゲーム事業の特徴は、野球やサッカーといったスポーツ系に強い。また、スロットマシンやカジノマネジメントシステムの開発・製造・販売、スポーツクラブの運営および公共スポーツ施設の管理運営なども手がける。	3.3%
3	ＴＤＫ	電気機器	大手電子部品メーカーの一角。磁性材料「フェライト」の工業化を原点とする素材技術からスタートし、今では、電子部品や磁気応用製品を製造。ヘッド、バッテリ、磁石、受動部品をコアに、電子部品事業を軸足として市場の求めるソリューションにより、大きく飛躍することを目指している。今後の需要拡大が期待される車載用や民生用などのセンサ応用製品の領域に注力。	2.8%

4	アシックス	その他製品	主力のランニングシューズはグローバルな競争力を有し、海外売上高比率は8割超。「誰もが一生涯、運動・スポーツに関わり、心と身体が健康で居続けられる世界の実現」というVISION2030に向け、ブランド体験価値の向上に取り組んでいる。	2.7%
5	カプコン	情報・通信業	1979年設立。経営理念は、ゲームというエンターテインメントを通じて「遊文化」をクリエイトし、人々に感動を与える「感性開発企業」。代表的なIP（知的財産）は、サバイバルホラーゲームの「バイオハザード」、ハンティングアクションゲームの「モンスターハンター」、対戦格闘ゲームの「ストリートファイター」など。	2.6%
6	ファーストリテイリング	小売業	1963年設立。企業理念は、「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」。ユニクロ、ジーユーなどのブランドを世界中で展開しています。中核事業のユニクロは、LifeWear（究極の普段着）のコンセプトのもと、高品質な素材や機能性素材を使った独自の商品を、手に取りやすい価格で販売。ジーユー事業については、ファッションと低価格を強みとしています。	2.6%
7	アドバンテスト	電気機器	半導体後工程試験装置市場の世界最大手で海外売上高比率95％超のグローバルメーカー。積極的なM&A戦略で業容を拡大しています。半導体の更なる微細化や性能向上が進むにつれて半導体検査装置への設備投資が拡大する中、積極的な研究開発投資により装置の性能向上を図り、半導体メーカーなど顧客からのハイレベルな要求に応えていくことで更なるシェア拡大を目指します。	2.6%
8	クラシコム	小売業	"フィットする暮らし、つくろう。"を企業理念に2006年創業した小売企業。ECサイト『北欧、暮らしの道具店』による北欧雑貨の販売を中心とし、アパレル、インテリア、コスメ等の商材を販売。多様な顧客接点を通じて幅広い年齢層から高い支持。海外に向けた情報発信にも努め、成長期待が高まる。	2.5%
9	デクセリアルズ	化学	1962年にソニーケミカルとして創業、2012年にソニーから独立し現社名に。従来はモバイルITのディスプレイ材料がコア事業で、業績が安定しないイメージが強かったが、現在の新家社長が社長に就任した2019年以降、大胆な経営陣の若返りを図るとともに、注力する差異化技術製品への経営資源のシフトを進めた結果、事業ポートフォリオが劇的に変化して高成長・高収益企業に転換。	2.5%
10	ユカリア	サービス業	日本の病院の7割が赤字である現状に対して、「ヘルスケアの産業化」というビジョンを掲げ、病院経営サポートや、情報端末・電子カルテを活用した医療DX推進によって、医療・介護のあるべき姿の実現を目指しています。	2.2%

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。
※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
※その他とは現金等を指します。
※業種については東証33分類に基づいて記載しております。

時価総額別構成比

時価総額別構成比



※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

市場概況

10月の日本株市場は、月初に大幅上昇となったものの、その後は中東情勢の緊迫化やAI・半導体関連企業への懸念から下落する展開となりました。

月初は前月末からの上昇基調を引き継ぎました。1日は、前日に発表された米マイクロンの好決算を受け、米国市場でAI・半導体関連銘柄が大幅高となった流れから、日本市場でも関連銘柄が買われ、日経平均株価は大幅に上昇しました。さらに、2日発表の米雇用統計が市場予想を下回り、FRBの追加利上げ観測が後退したことから、週明けの日本株市場も大幅高となりました。日経平均株価は1日から6日までに約4,000円上昇し、70,000円台を回復しました。

その後は、中東情勢の不透明感やAI・半導体関連企業の資金調達懸念から調整局面に入りました。10日にイエメンの親イラン武装組織フーシ派がサウジアラビアの国際空港を攻撃したことで中東情勢が再び緊迫化し、原油高によるインフレ懸念から長期金利が上昇しました。さらに、14日には米新興クラウド企業コアウィーブの社債が巨額の借入に伴う財務負担への懸念から急落し、22日には米半導体製造装置大手ラムリサーチの決算が市場予想を下回りました。こうした材料から米国市場でAI・半導体関連銘柄が売られ、日本市場でも関連銘柄を中心に下落しました。日経平均株価は13日から25日までに約5,500円下落し、62,000円台前半と7月30日以来約3ヵ月ぶりの安値を付けました。

26日には、米AI開発企業アンソロピックの新規株式公開（IPO）に向けた目論見書が公表され、AI関連需要への期待から株式市場は一時持ち直しました。しかし、30日発表の米アマゾンやインテルの決算が市場予想に届かず、AI・半導体関連銘柄が再び売られました。日経平均株価は前月末比3,463円安（▲5.19%）の63,290円で月末の取引を終えました。

トレーディング部　渕上　幸男

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。 ○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

運用状況

10月の当ファンドの騰落率は▲2.39％の下落となりました。組入銘柄のうち15銘柄が5％以上上昇し、パフォーマンスに貢献しました。

組入上位銘柄の騰落率では、コナミG（＋23.29％）、アシックス（＋14.64％）が上位2銘柄となりました。一方、TDK（▲13.72％）、デクセリアルズ（▲8.95％）が下位2銘柄となりました。

当月、上場来高値を更新した銘柄は5銘柄、年初来高値を更新した銘柄は15銘柄となりました。

同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は▲3.48％の下落、日経平均株価も▲5.19％の下落、東証グロース250指数も▲2.46％の下落となりました。
なお、当月のポートフォリオ組入銘柄数は前月末比変わらず59銘柄となっています。株式組入比率は90.0％（前月末比▲4.2％）としています。

◆2026年10月運用報告動画もぜひご覧ください

https://youtu.be/YLbu8tQJ4gM

2026年10月運用報告動画



未来予想図

【日本アニメの海外での広がり、ＩＰ（知的財産）を軸に世界規模での収益化が加速する展開へ 】

今年は夏から秋にかけて、見たい映画が多く、「ザ・スーパーマリオギャラクシー・ムービー」、「Michael/マイケル」、「キングダム魂の決戦」、「映画ちいかわ人魚の島のひみつ」、「ストリートファイター/ザ・ムービー」、などを鑑賞しました。これらは日本企業が関わっている作品です。
映画に限らず、ゲーム、アニメ、マンガ、音楽、キャラクターグッズといった日本のコンテンツ分野は、ここ数年、海外で認知度が高まっています。政府においても、26年7月に「日本成長戦略」が閣議決定され、日本が優位性のある分野のビジネス展開を促進する「戦略17分野」の1つとして、「コンテンツ」が位置づけられました。「コンテンツ産業は、2033年に海外売上げ20兆円を目指す日本の基幹産業である」と明示されています。現状、日本発コンテンツの海外売上高の約6割がゲーム、3割がアニメとみられていますが、このところ急速に海外でのファン層が広がっているのがアニメです。

日経BP社の「“アニメ”経済圏（平島綾子著）」によると、「2025年は、日本のアニメが今までの枠を超え、日本のエンタテインメント界全体にとって、グローバル化への大きな一歩を踏み出したエポックメイキングな年となった」と書かれています。実際、日本動画協会の「アニメ産業レポート2026」によると、日本アニメ産業の2025年市場規模は4兆4491億円（前年比＋16％増）、うち海外は2兆5426億円（同＋17％増）、国内は1兆9065億円（同＋14％増）。2019年に海外が国内を上回って以来、とりわけ海外での高い成長が続いています。

その象徴となった日本アニメが、25年7月公開の『劇場版「鬼滅の刃」無限城編第一章 猗窩座再来』。海外は150以上の国と地域で公開され、日本映画史上初めて、全世界の興行収入が1000億円突破しました。
日本アニメが海外で広がっている背景として、アニメ視聴がストリーミングを軸に加速していることに加え、動画配信サービス（ネットフリックスやクランチロールなど）による多言語・同時配信の推進です。

ところで、10月下旬から11月中旬にかけて、企業の7－9月期決算発表シーズンです。日本のコンテンツ企業の決算では、IP（知的財産）を軸に、映画やアニメ、ゲーム、音楽、イベント、商品化などが連動し、世界規模での収益化が加速するような展開を注目しています。



運用部　シニア・アナリスト 上野 武昭

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。 ○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

コモンズPOINTからのお知らせ

【ザ・2020ビジョンの寄付のしくみ『コモンズPOINT』について】
https://www.commons30.jp/fund2020/point.php

【コモンズ投信が来賓として年代別オープン卓球大会2026へ】

2026年10月3日、「パラIDジャパン・年代別オープン卓球大会2026」が北海道札幌市で開催され、光栄なことに来賓として出席させていただきました。
この大会は知的障がいのある選手達が世代ごとに分かれて熱い戦いを繰り広げる、とても素敵な大会です。会場は選手達の熱気とご家族や関係者の皆さんからの温かい声援に包まれていて、私もたくさんのパワーをもらいました。

今回の大会で特に印象的だったのは、地元北海道から参加されている選手が多かったことです。大会への参加はエントリー費や旅費、宿泊費だけでなく、コーチなど帯同者の費用等も基本的には選手自身の負担となります。そのため、今回「北海道での開催だから参加できた」という選手の声も伺うことができました。

このように大会を様々な地域で開催することは、経済的・地理的な参加格差をなくし、全体の競技力向上を図るために重要です。それだけでなく、地域の枠を超えた交流が生まれ、パラ卓球コミュニティの広がりや形成にも繋がっているのだと、現場で強く実感いたしました。

【日本知的障がい者卓球連盟様からのお知らせ】

～大会情報～
ITTFパラ卓球世界選手権 パタヤ2026

大会会場：PEACH（パタヤ・エキシビション・アンド・コンベンション・ホール／タイ）
競技期間：2026年11月13日（金）～19日（木）

【出場選手】
竹守彪選手、吉田友也選手、和田なつき選手、馬渡伊吹選手

11月13日（金）～15日（日）男女ダブルス・混合ダブルス
11月15日（日）～19日（木）男女シングルス

～野村 事務局長からの一言～

4年に1度の世界最高峰の大会になります。この日のために、彼らは日々の練習を積み重ねて努力してきました。悔しさも、苦しさも、乗り越えながら、毎日の練習を信じて、夢を追い続けてきました。
日本代表への熱い応援を、よろしくお願いします！

顧客業務部｜POINT担当　中村 耀太

お知らせ

Pick up！セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧下さい。

http://www.commons30.jp/seminar/





□ 世界を見つめて、未来へ。
コモンズ・グローバル30ファンド 1周年記念イベント
～ウォルター・スコット CIOを迎えて～

【大阪開催】12月3日（木）18:00-20:30 （受付開始時間 17:40）
開催地：綿業会館　大阪府大阪市中央区備後町2丁目5-8

【東京開催】12月5日（土）11:00-14:00 （受付開始時間 10:40）
開催地：STELLAR WORKS Restaurant & Bar 東京都港区北青山 1-2-3 青山ビル2階

□　運用哲学から紐解く、コモンズ・グローバル30ファンドの銘柄選び～世界の優良企業30社をどう選ぶ？～

【オンライン】11月11日（水）19:00～19:30（受付開始 19:00）

運用助言を担うウォルター・スコットの運用哲学から、企業の選び方、ポートフォリオ構築の考え方まで、ファンドの運用について詳しくご紹介します。





□　KIFUBAR@コモンズ投信
人と出会い、思いにふれ、応援する。

【東京】11月19日（木）19:00～21:00（受付開始時間18:45）

むずかしいことは抜きにして、まずは一杯。未来に乾杯しに、ついでに寄付もできちゃう！ぜひ遊びにきてください！

□ コモンズ30塾特別編　「東レの挑戦～100年の軌跡～」

【東京】11月28日（土）14:30-16:30（受付開始時間 14:00）

2026年8月、東レが再びコモンズ30ファンドの組入銘柄となりました。
今回のコモンズ30塾特別編では創立100周年という大きな節目を迎えた東レを迎え、その事業と100年にわたる挑戦の歩みに迫ります。





□ コモンズの投資視点
～マーケットと投資先企業を読み解く～

【オンライン】11月30日（月）20:00-21:00（受付開始 20:00）

ファンドをお持ちの方はもちろん、コモンズ投信にご関心をお持ちでまだファンドをお持ちでない方もぜひお気軽にご参加ください！

※詳細はコモンズ投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画をYouTube「COMMONSTV」にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本STO協会
コモンズ投信株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2061号		○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○		○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第32号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	○
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長（登金）第52号	○				
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金） 第10号	○		○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○	○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○				
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商） 第67号	○	○	○	○	
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○				

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。当ファンドは値動きのある有価証券に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により元本を割り込み、損失を被ることがあります。ファンドの運用から生じる損益は、すべて受益者に帰属します。
お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。株価は、個別の企業の業績や経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。
流動性リスク	ファンドが有価証券を売却または取得する際、市場に十分な流動性がない場合、市場実勢価格から乖離した価格での取引を余儀なくされ、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。
信用リスク	有価証券の発行者の経営・財務状況の悪化、またはそれらが予想される場合、当該有価証券の価値が下落または消失し、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。

その他の留意点

• 当ファンドは、実質的な運用をマザーファンドで行うファミリーファンド方式を採用しています。他の投資信託によるマザーファンドへの追加設定・解約等が短期間に集中した場合、マザーファンドに組入れている有価証券の売買により、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。
• 大量解約に伴い組入資産を短期間で大量に売却する必要が生じた場合、当該売却注文が市場価格に影響を与え、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。また、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢価格を反映した取引ができない場合や十分な取引量が確保できない場合は、解約申込の受付中止、受付済の解約申込の取消し、解約代金の支払い遅延といった事象が発生する可能性があります。
• 収益分配金は、預貯金の利息と異なり、必ずしも計算期間の運用収益を示すものではありません。分配金は信託財産から支払われるため、純資産総額が減少し、基準価額の下落要因となります。運用収益を超える分配が行われた場合は、その一部または全部が実質的に元本の一部払戻しとなる場合があります。
• 当ファンドのお取引は、金融商品取引法第37条の6に定めるクーリング・オフの対象外となります。
• 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険、貯金保険および保険契約者保護の対象ではありません。販売会社が証券会社ではない場合、投資者保護基金の支払い対象となりません。

ザ・2020ビジョンの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	（コモンズ投信の場合）ありません。 （委託会社の指定した販売会社の場合）販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	（コモンズ投信の場合）1万円以上1円単位 （委託会社が指定した販売会社の場合）販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
換金単位	（コモンズ投信の場合）1円以上1円単位 （委託会社の指定した販売会社の場合）販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時30分までです。午後3時30分を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

ご注意事項

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。

◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

関係法人

委託会社	コモンズ投信株式会社 〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17　ポーラ青山ビル16階
	・金融商品取引業者 ・関東財務局長（金商）第2061号 ・加入協会 一般社団法人 資産運用業協会
	お問い合わせ先 ■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時） 03-5860-5706 ■ウェブサイト https://www.commons30.jp/